親子承継で「第二創業」　100年企業の新たな歩み
小野豊太商店(佐賀県唐津市)



一度は消えかけた１００年企業の灯りは、親子承継で灯火をつなぎ、さらに輝きを増した。大正４（１９１５）年に創業した佐賀県唐津市の農機具店「小野豊太商店」。

承継を機に店舗を改装し、世界的な農林機器メーカーの正規販売店として「第二創業」を果たした。対面販売を大切にする経営理念は引き継ぎながら、販路を県外にも広げている。

棚にずらりと並んだチェーンソーを背に、４代目社長の小野文彦さん(50)はカメラに語りかける。「こんにちは、小野農機です」

２０１７年に開設したYouTubeチャンネル「（有）小野農機」(https://www.youtube.com/@ononouki)
登録者数約１万５２００人、総視聴回数は約４４０万回に達する。
農林機械の修理や困りごとを丁寧に解説する動画が人気で、県外から訪れる客も少なくない。



小野文彦さん

後継者不在「私の代で終わろう」



小野志朗さん

創業１０９年の老舗も、かつては廃業目前だった。先代の現会長、史朗さん(77)は「私の代で終わろうと思っていた」と明かす。

長男の文彦さんは高校卒業後、神奈川県の大手電機メーカーに就職。次男と長女も独立した。長年、農機具の販売、修理を手がけ、地域に欠かせない店との自負はあったが、後継者もおらず限界を感じていた。

転機は２０１６年。文彦さんが仕事に行き詰まりを感じ、実家に戻ってきた。幼い頃、「うるさい、汚い」と感じ、「継ぐつもりはなかった」家業だが、父の仕事を手伝ううちに「地元の役に立っている。細々でもやってみよう」という気持ちが芽生えた。



昭和３０年頃の小野豊太商店

農機具については「全くの素人」。覚えた知識は動画で配信した。「間違った情報を配信しないよう勉強する。知識は増え、宣伝にもなった」。生来の凝り性もあり、６年で農業機械整備の一級技能検定に合格した。

「商工会を活用しない手はない」

承継を後押ししたのは、地元の唐津東商工会。２０２１年、史朗さんから「店舗を改装して、息子に継がせたい」との相談を受け、国の「事業承継・引継ぎ補助金」の活用を提案した。動画配信を活用した新たな販路展開を軸とする事業承継計画は、国の補助金を得られなかったものの、佐賀県の補助金（改装費等の３分の２）を受けることができた。



ＹｏｕＴｕｂｅチャンネル「（有）小野農機」

商工会は、計画策定と残りの資金調達の手続きを支援した。史朗さんは「商工会を活用しない手はない。支援を待つのではなく、出向いて相談すべきだ」と実感する。

２０２２年３月、改装した新店舗は、ドイツの農林機器メーカー「スチール」を扱う「スチールショップ」に生まれ変わった。史朗さんが約４０年前、佐賀県で初めて取り扱ったメーカーで、文彦さんもその製品や、対面販売を重視する経営方針にひかれた。

接客は主に、商品知識が豊富な文彦さんが担当するが、店舗裏の修理工場では、史朗さんが指導役となる。「技術的なことは、経験のある父の方が上」と文彦さんが話せば、「７７歳になって息子のフォローができることは幸せですね」と史朗さんは笑う。

「対面販売を大切に」継承後も変わらず



「第二創業」を見守る大正時代の梁

新店舗の天井には、大正時代から店を見守ってきた梁を残した。「機械を大事に扱ってくれるお客様と長く付き合っていきたい。対面販売を大切にしてきた小野豊太商店の考え方は変わらない」と文彦さん。将来的には、林業のプロが足を運ぶ店作りを目指す。

親子承継を経て、１００年企業は新たな歴史を刻んでいる。

会社概要

有限会社　小野豊太商店

佐賀県唐津市相知町相知1483番地

https://ononouki.com/

農林業機械販売・修理

承継のポイント

① 先代の早めの決断と相談
② 後継者に任せる姿勢
③ 後継者の明確な経営ビジョン



江北町商工会
一ノ瀬稔・経営支援課長
（支援時は唐津東商工会）

小野豊太商店の場合、先代が早めに承継を決断され、店づくりや経営方針についても「一切、息子に任せる」と託されたことがスムーズな承継につながりました。後継者の考えがしっかりしていたことも大きかったです。

先代の早めの決断は大切です。先代がいきなり亡くなり、後継者が何をしてよいか途方に暮れてしまうこともあります。先代が元気なうちに決断したことで、技術の継承などもうまくいっています。

商工会の経営指導員が、全ての会員企業に目配せすることは難しいのが現状です。「店舗を改装したい」「資金調達が必要だ」などの相談があれば、活用できる施策を提案できます。商工会を積極的に活用していただくことが、事業承継のプラスにつながると思います。

（取材・編集：２０２４年１１月２０日）

Be a Great Small.
中小機構

独立行政法人中小企業基盤整備機構
九州本部　地域・連携推進課
ＴＥＬ：０９２－２６０－１３５５

継ぐモノ
九州における事業承継

事業を引き渡した経営者、先代から事業を受け継いだ後継者、事業の引き継ぎをサポートした支援機関、様々な“継ぐモノ”の皆様の声や想いを紹介しています。

中小機構 事業承継 ポータルサイトはこちら▲